

外間守善生誕100年企画 ～外間守善先生が遺してくれたもの～

記念シンポジウム「沖縄学」と平和思想

令和6年 9月25日(水) 開場18:00 開演18:30 場所 那覇文化芸術劇場なはーと 3階 大スタジオ

外間守善 略歴

1924年沖縄県那覇市に生まれ、甲辰小、沖縄師範学校に進む。1945年、山形32連隊に現地入隊し、沖縄戦で九死に一生を得る。戦後、沖縄諮詢会文化部勤務を経て、沖縄文教学校附属初等学校訓導となる。1946年11月依願退職の後、上京。以後、東京在住。2012年11月20日永眠。

主な受賞歴

1950年 國學院大學文学部文学士取得
1954年 沖縄文化協会入会(1978年～2006年会長)
1963年 琉球大学文理学部講師、助教授(～1967年)
1967年 和洋女子大学短期大学部教授・文学部兼任
1968年 法政大学文学部教授・大学院兼任(～1995年)
1974年 法政大学沖縄文化研究所副所長、所長(～1984年)
1975年 九学会連合奄美調査委員長(～1979年)
1977年 國學院大學文学博士取得
1979年 法政大学久米島・久高島調査委員長(～1985年)
1980年 ハワイ大学客員教授
1982年 沖縄研究国際シンポジウム開催(東京・沖縄)、実行委員長・運営委員長、以後、第2回(1992年沖縄・東京)、第3回(1997年沖縄・シドニー)、第4回(2001年沖縄、2002年ボン)継続開催
1989年 シドニー大学客員教授
沖縄振興開発審議会委員(～1997年・第9期～12期、うち総務部会委員 1989年～1995年)
1995年 沖縄学研究所所長
1996年 沖縄県立芸術大学客員教授(～2005年)
1998年 名桜大学客員教授、理事、評議員(～2003年)
法政大学名誉教授

1967年 「朝日学術奨励賞」受賞(朝日新聞社)
1969年 「沖縄タイムス文化賞」受賞(沖縄タイムス社)
1981年 「伊波普猷賞」受賞(沖縄タイムス社)
1988年 「東恩納寛悖賞」受賞(琉球新報社)
1996年 「角川源義賞」受賞(角川書店)
2003年 「福岡アジア文化賞」大賞受賞(福岡市)
2003年 沖縄県功労者表彰受賞

主な著作

1965年 『校本おもろさうし』(共編)、角川書店
1967年 『おもろさうし辞典・総索引』(共著)、角川書店
1971年 『うりずんの島—沖縄文学と思想の底流—』沖縄タイムス社
1971年 『沖縄の言語史』法政大学出版局
1972年 『おもろさうし』日本思想大系18(共著)、岩波書店
1978～80年 『南島歌謡大成』全5巻(共編)、角川書店
1985年 『おもろさうし』古典を読む22、岩波書店
1986年 『沖縄の歴史と文化』[中公新書]、中央公論社
1995年 『南島文学論』角川書店
1995年 『沖縄古語大辞典』沖縄古語大辞典編集委員会編(編集委員代表)、角川学芸出版
1997年 『定本琉球国由来記』(共編著)、角川学芸出版
2002年 『定本おもろさうし』(共編著)、角川書店
2002年 『沖縄学への道』[岩波現代文庫]、岩波書店
2007年 『回想80年：沖縄学への道』沖縄タイムス社

1 基調講演 波照間 永吉 (名桜大学大学院 国際文化研究科 教授・名桜大学 琉球文学大系 編集刊行委員会委員長)

演題 「オモロ研究」から沖縄学の展開 — 外間守善先生の研究を中心に —

2 シンポジウム・パネリスト

波照間 永吉 (名桜大学大学院 国際文化研究科 教授・名桜大学 琉球文学大系 編集刊行委員会委員長)

諸見里 道浩 (ジャーナリスト・沖縄タイムス社元専務・編集局長)

瑞慶山 和子 (真踊流佳瑞の会会主・東京琉球舞踊協会会長・東京沖縄県人会副会長)

崎山 律子 (那覇市文化協会会長・ジャーナリスト)

進行: 林立騎・村上 佳子 (那覇文化芸術劇場なはーと)

※会場には靴を脱いでお入りいただきます。

関連
公演
予告

うが
ん
舞台「平和の御願立て」

しな なご とど
～撓て、和やけて、凧やけれ 沖縄～

日時 令和6年11月3日(日) 17時開演 場所 那覇文化芸術劇場なはーと 大劇場 入場料 2,000円